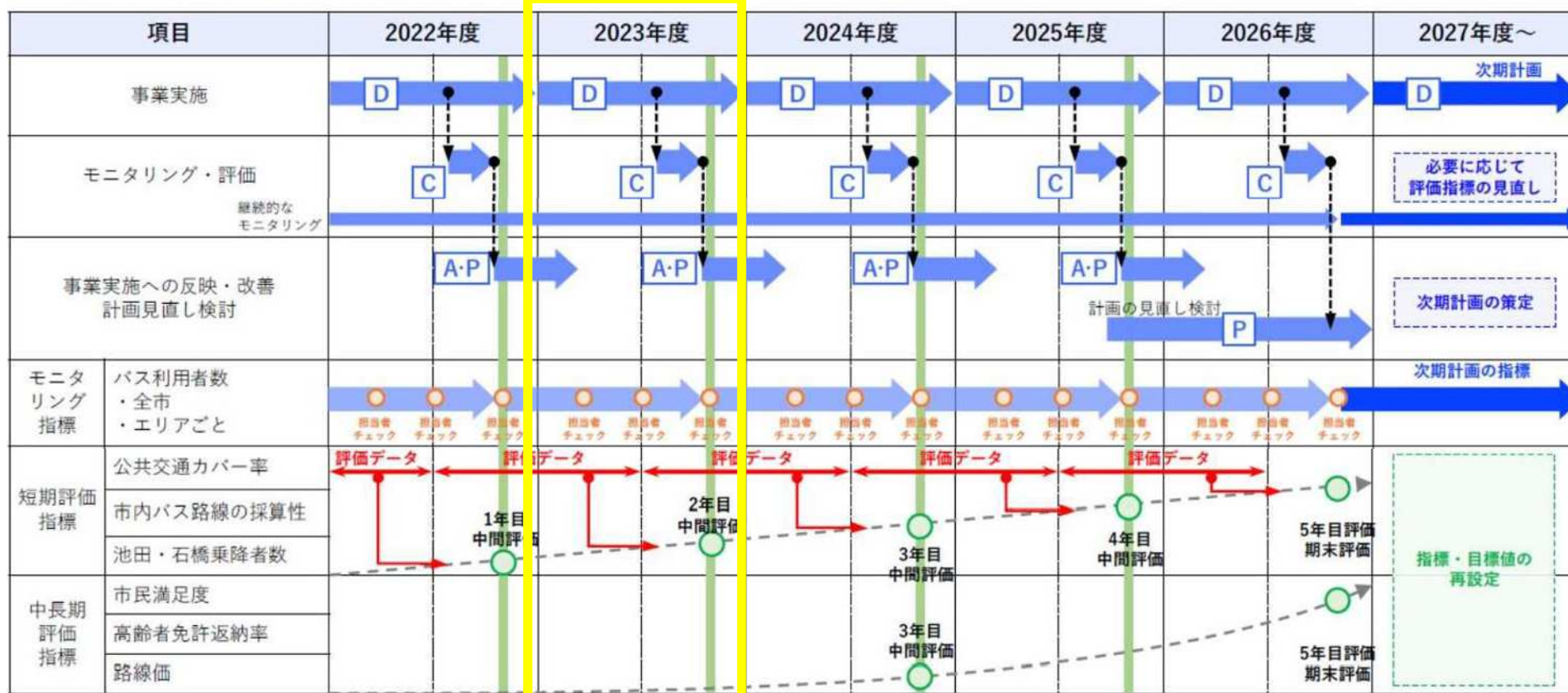

目標指標の評価結果

池田市地域公共交通計画における目標設定

- 池田市地域公共交通計画では、毎年状況を確認する短期評価指標及び、3、5年目に状況を確認する中長期評価指標を設定している。
- 今回、計画1年目の評価として、短期評価指標の3項目について評価を行う。

▼第Ⅰ期計画期間(5年間)の評価実施スケジュール



池田市地域公共交通計画における目標設定

- 短期評価指標として設定している以下の3項目について、最新データによる評価を行う。

d) 短期評価指標及び中長期評価指標のまとめ

区分		評価事項・ねらい	評価指標(案)		現況値※	目標値(15年後)
短期評価指標	①様々な層が移動しやすい環境確保	公共交通を利用することのできる市民の数	公共交通カバー率 (鉄道駅 500m、バス停 300m)		83.8%	91.5%
	②持続性確保、利便性向上の推進	事業者だけではカバーできない公的な移動支援の実施状況	池田市主体により確保・提供している交通手段の利用者数		75,056 人/年	95,263 人/年
	③誘導すべきエリアへの移動環境形成	公共交通による拠点への往来	拠点での公共交通利用者数	池田	鉄道:57,924 人/日 バス:7,218 人/日	鉄道:58,000 人/日 バス:7,200 人/日
				石橋	鉄道:56,236 人/日 バス:2,757 人/日	鉄道:56,000 人/日 バス:2,800 人/日

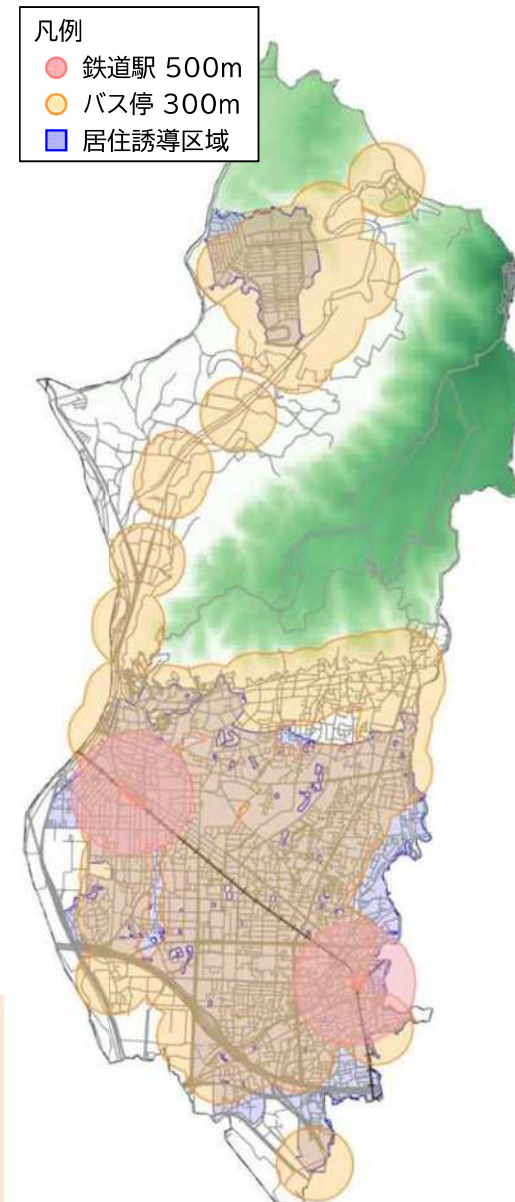
※計画策定時
(2019年時点)

指標① 池田市域の公共交通カバー率

▼評価指標・目標値の概要

評価事項	できるだけ多くの市民が公共交通にアクセスし、利用することのできる環境となっているか
算出方法・データソース	池田市町丁別人口(令和3年3月31日現在)より、鉄道駅から500m※、バス停から300m※の圏域内に居住している市民の数を算出 ※池田市立地適正化計画と整合
目標値	今後の人口減少や立地適正化の取組を踏まえ、公共交通機関を利用できる市民の割合を高めていくこととし、現状の公共交通カバー範囲に加え、居住誘導区域内の住民は公共交通を利用できる状態を目指す 現状:83.8% ⇒ 将来(15年後):91.5%

凡例
● 鉄道駅 500m
● バス停 300m
■ 居住誘導区域



▼達成状況

区分	計画策定時	2023年度評価	目標(2036年)
カバー率	83.8% (参考値) 人口:103,621人 カバー人口:86,804人 (2021年3月)	83.8% (対現況値:同値 対目標値:91.5%) 人口:103,172人 カバー人口:86,477人 (2023年3月)	91.5% (参考:目標設定の考え方) 鉄道駅500m+バス停300m +居住誘導区域のカバー人口: 94,819人⇒カバー率91.5% ※2021年3月人口を維持したとして算出

▼評価結果

- 市内循環バス路線と一部運行経路が重なっている石橋～西宮方面へ運行する路線が休業に至ったが、廃止される市内バス停はなく、カバー率に変化はほとんどなかった。
- モビリティマネジメントや公共交通の利用促進施策の検討、推進に努め、公共交通サービスの維持・確保に取り組む。

指標② 池田市主体により確保・提供している交通手段の利用者

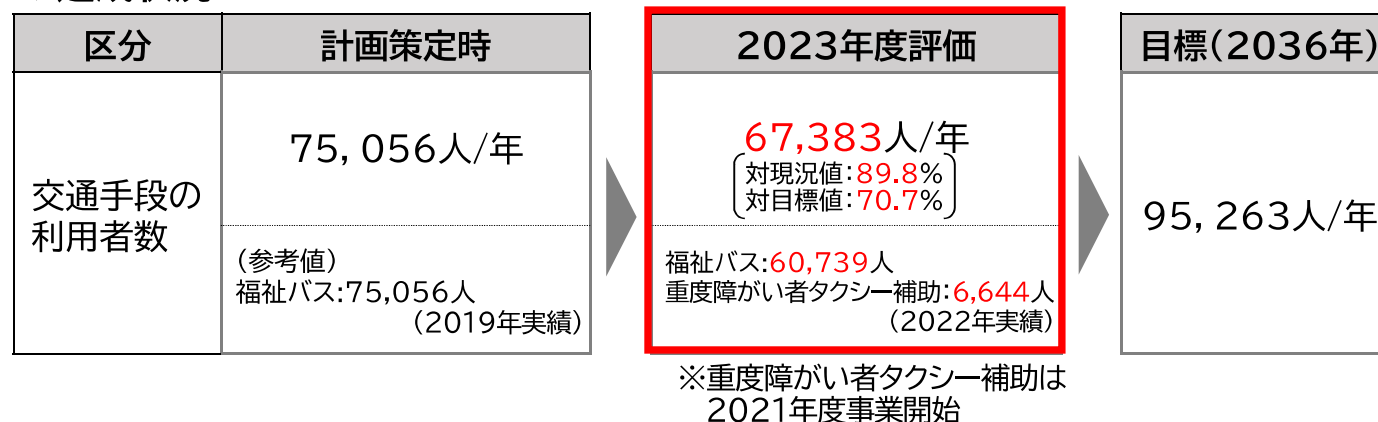
▼評価指標・目標値の概要

評価事項	事業者だけではカバーできない公的な移動支援が効果的に行われているか。
算出方法・データソース	施設循環福祉バス及び重度障がい者タクシー料金補助の利用者数の合計 ※制度内容や条件等の変更があった場合には適宜見直し等の対応を行う
目標値	今後、高齢化等の進展により、公的な移動支援を必要とする市民が増加することを踏まえ、高齢化率の増加割合と同程度の利用状況を目標値とする。(2020年:26%⇒2035年:33%) 現状:75,056人/年 ⇒ 将来(15年後):95,263人/年

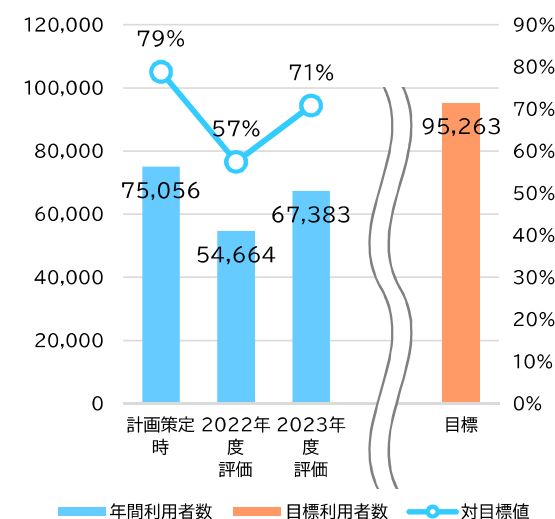
▼施設循環福祉バス「おでかけ号」



▼達成状況



▼達成状況



▼評価結果

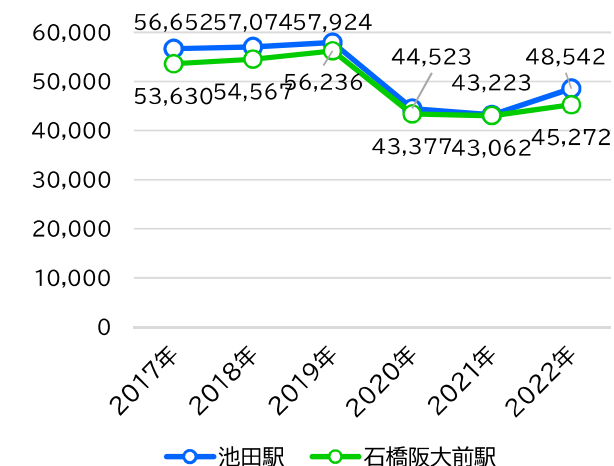
- 新型コロナウイルス感染症拡大の影響収束により、大幅に減少していた利用者数が回復の傾向にある。
- 施設循環福祉バスの運行状況や重度障がい者対象のタクシー料金補助制度の周知等、市が提供している交通手段について情報提供を継続していく。

指標③ 拠点での公共交通利用者数

▼評価指標・目標値の概要

評価事項	市内の拠点における公共交通利用者数[人/日] ①池田地区:「池田」駅及び「池田」バス停 ②石橋地区:「石橋阪大前」駅及び「阪急石橋北口」、「阪急石橋」バス停
算出方法・データソース	鉄道:池田市統計書より把握 バス:阪急バスICカードデータより対象バス停の利用者数を合計 ※現金利用が含まれないため、利用状況の変化の確認を主として把握
目標値	拠点としての機能を確立していく上でコロナ禍前の水準に戻すことを目指し、令和元年度での利用状況と同程度を目標値とする ①池田地区 鉄道 現状(2020):44,523人/日 ⇒ 将来(15年後):58,000人/日 バス 現状(2020):5,581人/日 ⇒ 将来(15年後):7,200人/日 ②石橋地区 鉄道 現状(2020):43,377人/日 ⇒ 将来(15年後):56,000人/日 バス 現状(2020):2,102人/日 ⇒ 将来(15年後):2,800人/日

▼鉄道利用者数



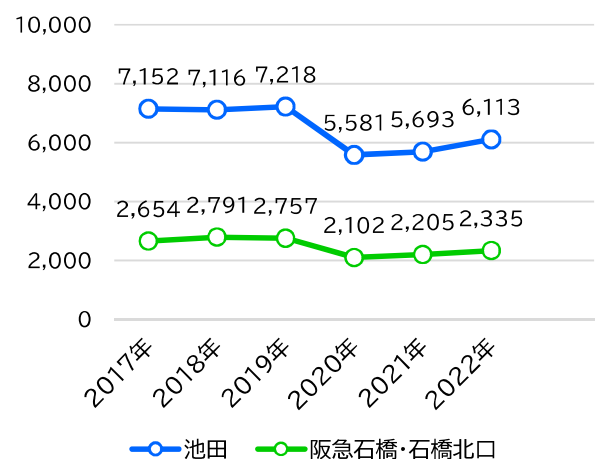
▼達成状況

区分	計画策定時		2023年度評価	目標(2036年)
拠点での公共交通利用者数	池田	鉄道	57,924人/日	58,000人/日
		バス	7,218人/日	7,200人/日
	石橋	鉄道	56,236人/日	56,000人/日
		バス	2,757人/日	2,800人/日

(2019年実績)

(2022年実績)

▼路線バス利用者数



▼評価結果

- 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により大幅に減少した利用者数は、徐々に回復の傾向。
- 市民の生活様式や移動ニーズの変化を踏まえつつ、交通事業者等と連携しながら利用促進等に取り組み、サービスの適正化を検討していく。

評価結果まとめ

指標			計画策定時	目標値	調査方法	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取組
公共交通カバー率			83.8%	91.5%	町丁目別人口 (半年に1回更新)	83.8% (2023年3月)	・市内循環バス路線と一部運行経路が重なっている石橋～西宮方面へ運行する路線が休業に至ったが、廃止される市内バス停はなく、カバー率に変化はほとんどなかった。 ・モビリティマネジメントや公共交通の利用促進施策の検討、推進に努め、公共交通サービスの維持・確保に取組む。
						対現況:同値 対目標:91.5%	
池田市主体により確保・提供している交通手段の利用者数			75,056人/年	95,263人/年	福祉バス等利用状況の記録	67,383人/年 (2022年実績)	・新型コロナウイルス感染症拡大の影響収束により、大幅に減少していた利用者数が回復の傾向。 ・施設循環福祉バスの運行状況や重度障がい者対象のタクシー料金補助制度の周知等、市が提供している交通手段について情報提供を継続していく。
						対現況:89.8% 対目標:70.7%	
拠点での公共交通利用者数	池田	鉄道	57,924人/日 (2019年)	58,000人/日	池田市統計書 (年1回更新)	鉄道:48,542人/日 (2022年実績)	・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により大幅に減少した利用者数は、徐々に回復の傾向。 ・市民の生活様式や移動ニーズの変化を踏まえつつ、交通事業者等と連携しながら利用促進等に取り組み、サービスの適正化を検討していく。
			対現況:83.8% 対目標:83.7%				
		バス	7,218人/日 (2019年)	7,200人/日		バス:6,113人/日 (2022年実績)	
			対現況:84.7% 対目標:84.9%				
	石橋	鉄道	56,236人/日 (2019年)	56,000人/日	池田市統計書 (年1回更新)	鉄道:45,272人/日 (2022年実績)	
			対現況:80.5% 対目標:80.8%				
		バス	2,757人/日 (2019年)	2,800人/日		バス:2,335人/日 (2022年実績)	
			対現況:84.7% 対目標:83.4%				